

浅草地区まちづくり推進について

1 (仮称)浅草未来図案～まちづくりビジョン～中間のまとめについて

(1) 策定の目的

浅草地区のまちづくりは、平成19年6月に策定した「浅草地域まちづくり総合ビジョン」以降、東京スカイツリーの開業や、外国人観光客を含む来街者の増加など、環境が大きく変化している。

このため、概ね20年後の浅草の将来像と、その実現に向けた取組の方向性を示す「(仮称)浅草未来図案～まちづくりビジョン～」(以下「未来図案」という。)を策定するものである。

(2) 検討経過

多様な主体が共有できる未来図案の策定に向け、令和4年度から、学識経験者、地域団体、鉄道事業者等で構成する策定委員会を設置するとともに、より具体的な議論を行うため、基盤整備部会およびまちづくり部会の2部会を設け、検討を進めてきた。

① 策定委員会

令和4年9月以降、これまでに9回開催し、ビジョン全体の方向性や施策の共有、各部会での意見の総括を行った。

② 基盤整備部会

これまでに10回開催し、都市基盤整備に関する基本的な方向性について検討を行った。

③ まちづくり部会

これまでに10回開催し、将来のまちの姿やコンセプト、イメージ図などについて検討を重ねた。

【開催状況】

年度	策定委員会	基盤整備部会	まちづくり部会
令和4年度	第1※・2回	第1※・2回	第1※・2回
令和5年度	第3・4回	第3・4回	第3・4・5回
令和6年度	第5・6回	第5・6・7回	第6・7回
令和7年度	第7・8・9※回	第8・9・10※回	第8・9・10※回

※ 策定委員会と部会の合同開催

(3) 未来図案の概要

未来図案では、浅草の多彩な地域資源を活かした魅力あるまちづくりを推進するため、概ね20年後のまちの姿と、その実現に向けた具体的な取組の方向性を示している。

住む人・商いをする人・訪れる人それぞれの価値観やニーズが多様化する時代における、新たなまちづくりの姿を提示するものである。

構成は、まちづくりへの理解と共感を促す「本編」と、まちづくりに関する基礎データや検討経過等をまとめた「資料編」から成る。

(4) 未来図案（中間のまとめ）の内容

別紙のとおり

2 社会実験について

雷門通りの一部区間（雷門交差点～吾妻橋交差点）を車両通行止めとし、人の動きや周辺交通、沿道店舗等への影響を調査・分析する社会実験を実施する。

現在、沿道店舗をはじめとする関係者と、実施に向けた調整を進めている。

日時（予定）：令和8年1月17日（土）・18日（日）11時～15時

令和8年1月29日（木）・30日（金）11時～15時

3 今後の予定

令和7年12月～令和8年1月	パブリックコメント実施
令和8年1月	社会実験実施
	都市計画審議会に報告（最終案）
令和8年第1回定例会	産業建設委員会に報告（最終案）
令和8年3月	未来図案策定